

政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名	
	分野	基本政策			政策		警防課
	03	05	01	01	01		

政策
消火・救急などの災害対応力の充実強化

政策の内容

消火・救急などの災害対応力の充実強化を図るため、複雑化・多様化する消火・救急などの災害対応訓練に加え、多発する大規模な自然災害を想定した訓練及び消防活動における安全管理体制を充実させ、各種災害への対応力の強化を図るとともに、車両をはじめ、資機材及び消防水利を計画的に整備します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・近年、複雑多様化する災害に適切に対応するため、訓練や研修を計画的に実施するとともに、安全管理隊を運用して安全管理体制の充実を図っている。
- ・対応すべき災害の特性及び本市の実情を考慮し、車両、資機材及び消防水利を計画的に整備している。
- ・若手職員の経験不足を補い、今後発生が予想される地震や風水害への対応力を強化するため、より効果的な職員育成手法の確立を図る必要がある。
- ・消防水利の稀薄地域への整備を進めるとともに、耐震性貯水槽、防火井戸等の設置から長年経過している消防水利の点検・維持管理を適切に進める必要がある。
- ・救命効果の向上を図るため、心原性心肺機能停止傷病者に対する一般市民の応急手当実施率を向上させる必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	938,359	1,119,615			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	35.0	40.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	3.0	3.0			
再任用職員(31時間勤務)	7.0	9.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
消防訓練事業	災害における消防救助技術の向上を図るため、訓練施設を有効に活用するとともに、合同訓練に参加するなど、充実した訓練を実施する。	5,486
消防車両維持管理事業	災害発生時に緊急自動車として即時対応するため、法定点検をはじめとする各種点検整備により、適切に維持管理する。	125,718
消防車両大規模点検整備事業	災害発生時に緊急自動車として即時対応するため、大規模な点検整備により、適切に維持管理する。	38,361
消防用資機材維持管理事業	消防用資機材の故障等を未然に防止するため、法定点検をはじめとする各種点検整備により、適切に維持管理する。	12,082
消防水利維持管理事業	消防水利を有効に活用するため、各種点検整備により、適切に維持管理する。	9,280
消防水利維持管理工事業	消防水利を有効に活用するため、各種整備工事により、適切に維持管理する。	15,800
消防車両購入事業	消防力を適切に維持するため、消防車両更新計画に基づき、車両を更新する。	338,378
消防用資機材整備事業	あらゆる災害に適切に対応するため、消防用ホースや救助用資機材など、消防活動に必要な消防用資機材を整備する。	33,774
地震対策消防水利整備事業	震災時における水源を確保するため、地震対策消防水利整備計画に基づき、耐震性貯水槽及び防火井戸を計画的に設置する。	69,755
警防業務運営経費	災害対応能力の向上を図るため、各種警防業務に必要な会議等に参加するとともに、必要な資格を取得する。	2,722
救急企画推進整備事業	救急体制の充実を図るため、救急救命士の養成や救急隊員の教育を実施するとともに、救急業務に必要な救急資器材の整備を行う。	86,125
救急車両購入事業	消防力を適切に維持するため、救急車両更新計画に基づき、車両を更新する。	144,765
救急普及啓発事業	応急手当の重要性を市民に広く広報するとともに、救急安心電話相談窓口の積極的な利用の推進など、救急車の適時、適切な利用について普及啓発を行う。	13,421
消防航空隊運営維持管理事業	消防航空隊の充実した運営体制を確保するため、消防ヘリポートの点検を適切に実施し、維持管理及び運用に必要な整備を行う。	41,371
消防ヘリコプター機体維持管理事業	消防ヘリコプターの安全運航を確保するため、法定検査及び機体修繕により、適切に維持管理する。	128,903
消防航空隊安全運航事業	航空消防体制の充実強化を図るため、消防ヘリコプターの安全運航に必要な研修の受講及び訓練を実施する。	11,490
航空従事者資格取得訓練事業	航空消防体制の継続と充実強化を図るため、消防ヘリコプターの運航に必要な資格を計画的に取得する。	42,100
消防ヘリコプター整備事業	安定した航空消防体制の継続のため、基本計画に基づき、消防ヘリコプターの更新を計画的に行う。	84

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
消防隊の訓練実施回数(回)	消防隊の訓練実施回数	必要な訓練回数の確保により、複雑・多様化する各種災害への対応力強化を見込んでいる。	目標値	-	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
			実績値	12,084	2026年5月確定				
			達成率	-					
消防水利の調査点検実施数(回)	消防水利の調査点検実施数	調査点検を適切に行うことで、設置後50年を経過する等で補修が必要な消防水利の現状を適切に把握する必要がある。	目標値	-	16,622	16,622	16,622	16,622	16,622
			実績値	16,642	2026年5月確定				
			達成率	-					
応急手当講習会の受講者数(人)	応急手当講習受講者のうち、1万人あたりの修了証を発行する講習(普通救命講習、上級救命講習)の受講者数	市民による救急現場における心肺蘇生の実施率を高めるためには、一定水準の知識及び技術の習得が必要であるため。	目標値	-	72	72	72	72	72
			実績値	62	2026年5月確定				
			達成率	-					
航空隊が実施した訓練飛行回数(回)	航空隊が自隊訓練及び地上隊、他機関と連携して実施した訓練飛行回数	必要な訓練回数の確保により、安全管理体制の強化、自隊の能力向上及び他隊との連携強化を見込んでいる。	目標値	-	130	130	130	130	130
			実績値	169	2026年5月確定				
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
消防隊が実施した警防活動及び訓練の無事故率(%)	消防隊が実施した警防活動(救急活動を除く。)及び訓練の無事故率	職員の安全管理意識の向上が現場活動の質の向上につながり、その結果として市民の安全・安心につながることを見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	99.9	2026年5月確定				
			達成率	-					
長寿命化工事、補修工事等が必要な消防水利の工事実施数(箇所)	点検により判明した、早期に補修工事等が必要な消防水利数に対する工事実施数	必要な補修工事、長寿命化工事を適切に行うことにより、既設消防水利数を維持し、火災時の水源を確保する。	目標値	-	8	8	8	8	8
			実績値	7	2026年5月確定				
			達成率	-					

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
応急手当講習の目標達成度(%)	講習前後における受講者が抱く応急手当の実施に関する不安感の解消率	市民による救急現場における心肺蘇生の実施率を高めるためには、一定水準の意識・技術の習得に加え、不安感の解消(自信を着けること)が必要となるため。	目標値	-	80	100	100	100	100
			実績値	-	2026年5月確定				
			達成率	-					
航空隊が実施した訓練の無事故率(%)	訓練飛行回数に対する無事故率	ヘリコプターに関する知識、手技の理解度を向上させることが、安全で円滑な活動に直結し、その結果として市民の安全・安心につながることを見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	2026年5月確定				
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
火災による死者数(放火自殺者を除く)(人)	○	1年間の市内における火災による死者数(放火自殺者を除く) ※死者数6人(2023年度)を0人にする。	実績値	5	2026年5月確定					0
			達成率	17%						
救急現場における市民による応急手当実施率(%)	○	1年間に市内において、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	実績値	50.6	2026年5月確定					60
			達成率	84.3%						
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも、市民の安全・安心を守っている。

【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載